

沼津港 津波防災情報図(進入図)

計算条件：最高水面

・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

○ 経時変化図出力点

最大水位上昇

- 600～最大600cm
- 550～600cm
- 500～550cm
- 450～500cm
- 400～450cm
- 350～400cm
- 300～350cm
- 250～300cm
- 200～250cm
- 150～200cm
- 100～150cm

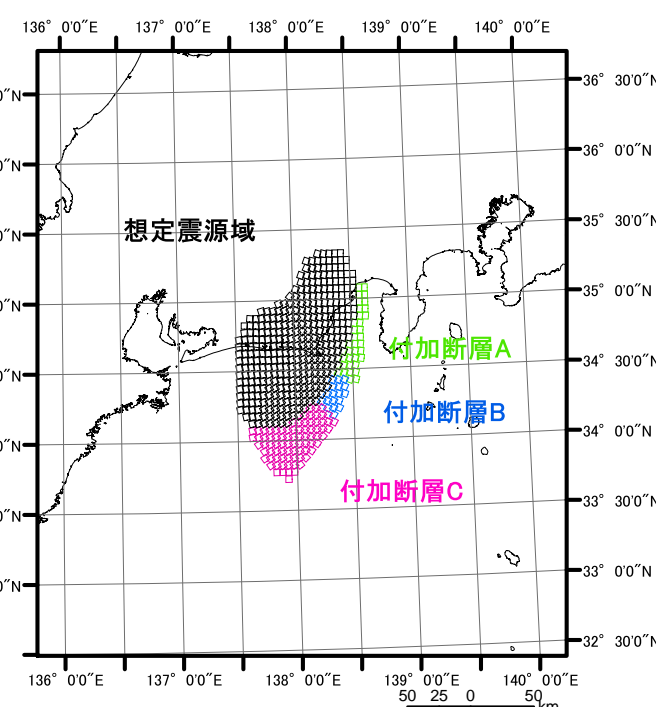
進入時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

・津波の到達時間は、水位が10cm変動した時点を算出している。

・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

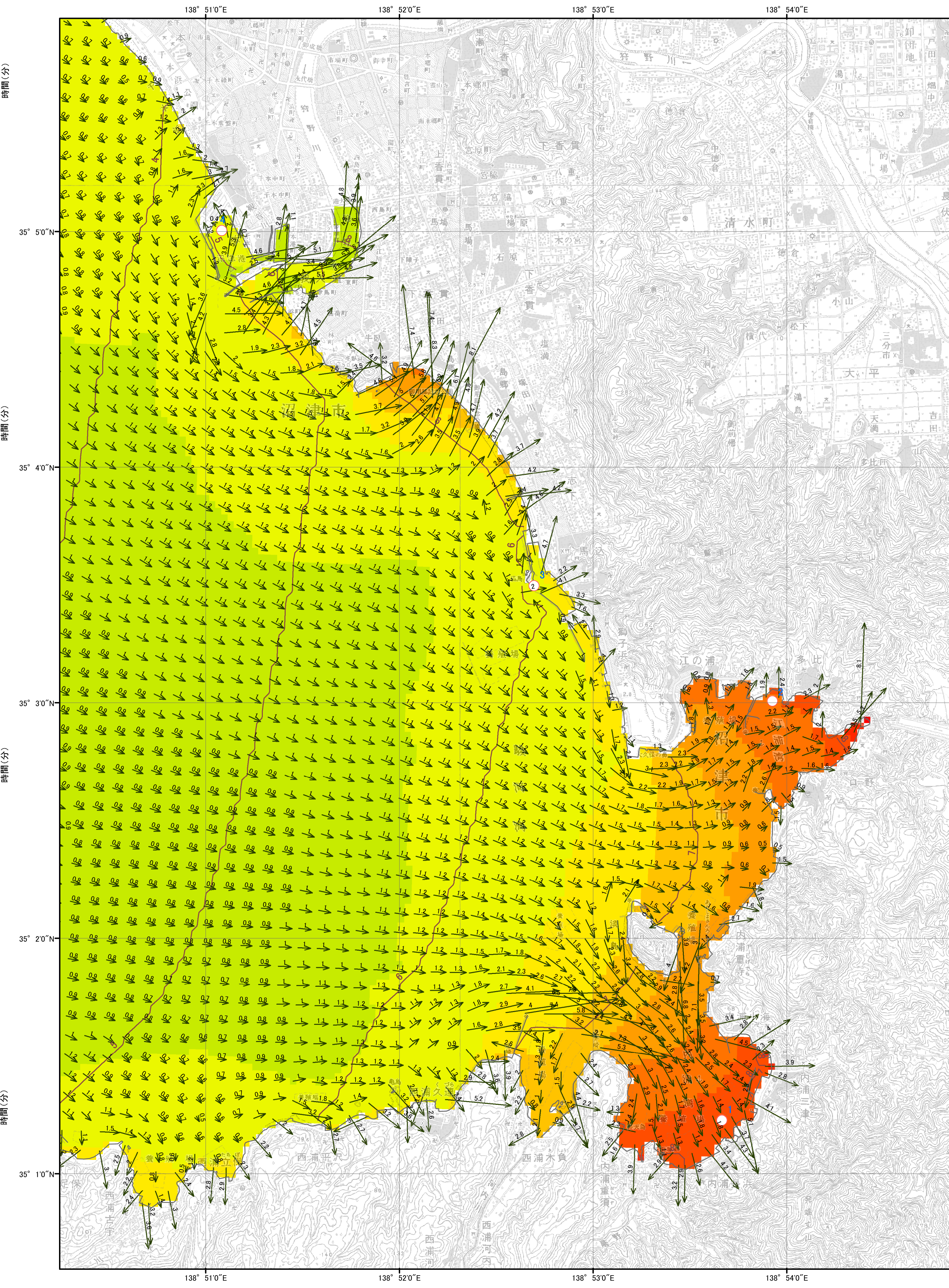
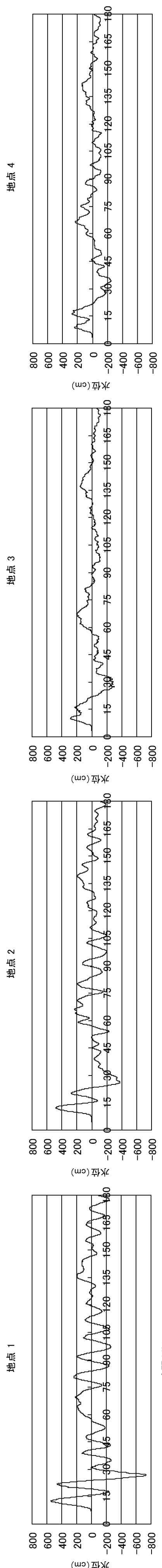
想定震源域と付加断層の位置



	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34° 45' N, 138° 02' E	19km
付加断層 A	34° 45' N, 138° 30' E	4km
付加断層 B	34° 15' N, 138° 20' E	6km
付加断層 C	34° 00' N, 138° 00' E	7km

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会(平成13年12月11日)」で公表された断層モデルを使用した。

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。



・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データ等を使用した。

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。

(承認番号 平15総復、第673号)

・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。

(承認番号 平15総復、第672号)

作成機関：海上保安庁
作成年月：平成15年 3月(初版)
第2回改訂：平成16年 3月(ver1.2)